

■平成 20 年度 催物案内

所蔵品による特別展示 田口コレクション展 I 現代の美術

この 30 年、何が探求されてきたか？ On Existence—在ることのあ・か・し

会期：3 月 11 日（火曜）から 5 月 11 日（日曜）まで

当館の作品収集にとって、作品の寄贈は重要な意味を持っています。中でも「田口コレクション」は、西濃運輸関係の(財)田口福寿会とセイノーホールディングス社から寄贈いただいたもので、西洋の近現代彫刻と日本・西洋の現代美術を中心としています。本展では、田口コレクションの内容と魅力を紹介する第一弾として、現代美術の作品群を一堂に展示します。

第 62 回岐阜県美術展

一般部：5 月 31 日（土曜）から 6 月 8 日（日曜）まで

青年部：6 月 12 日（木曜）から 6 月 15 日（日曜）まで

少年部：6 月 19 日（木曜）から 6 月 22 日（日曜）まで

一般部は、日本画、洋画、立体造形、工芸、書、写真、グラフィックデザインの 7 部門からなる公募展。

青年部は、絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の 5 部門からなる公募展。

少年部は、絵画・デザイン、書写の 2 部門からなる公募展。

いま、日本画は —はて無き精進の道程—

会期：7 月 18 日（金曜）から 8 月 31 日（日曜）まで

日本画の保守的なイメージとはうらはらに、現代の作家たちは自由に、テーマや材料、形とも様々な表現に挑戦しています。本展では個人所蔵家のご協力のもと、現在活躍中の日本画家たちを中心に、38 人の作品をご紹介します。また視覚障がい者の方にも作品を鑑賞していただけるような試みをご用意しております。

いのちのかたち 熊谷守一展

会期：9 月 12 日（金曜）から 10 月 26 日（日曜）まで

郷土ゆかりの画家、熊谷守一の画業をご紹介します。守一は、身近な風景や生き物の姿を、赤い輪郭線で生き生きと描いた画家です。この展覧会では、初期の代表作である「蠟燭」や「ヤキバノカエリ」など数々の名品とともに、新たに発見された襖絵を展示します。「いのち」の輝きを描いた熊谷守一の作品の魅力に迫ります。

モスクワ市近代美術館所蔵 青春のロシア・アヴァンギャルド

会期：11 月 11 日（火曜）から 12 月 25 日（木曜）まで

日本初公開となるモスクワ市近代美術館の所蔵品によって、20 世紀前半に起こったロシア・アヴァンギャルドの絵画を再検証します。ロシア抽象絵画の代表者マレーヴィチ、ゴンチャローヴァ、ピロスマニなど、20 世紀ロシア美術の青春期に活躍したそうそうたる画家たちの軌跡をたどります。

人間国宝 芹沢銈介と源流への旅路 ～ある染織家が求めた美のルーツ～

会期：1月9日（金曜）から2月15日（日曜）まで

芹沢銈介（1895年静岡生まれ）は、東京高等工業学校図案科を卒業後、民芸運動の創始者・柳宗悦に会い、民芸運動に参加した染色家です。沖縄の紅型染に魅せられ、極めて独創的な型絵染を考案しました。ある染織家が集めた、のれん、着物、ガラス絵などの芹沢作品とともに、芹沢美学の源流ともいえる民族美術や、民芸運動によって見出された生活の美を展示します。

第5回 円空大賞展 創造の原野を切りひらく

会期：2月24日（火曜）から3月20日（金曜・祝日）まで

岐阜県ゆかりの江戸時代の修行僧「円空」。その精神を彷彿とさせる芸術家を顕彰することで、岐阜の文化を振興し広く発信してゆくことを目的として、岐阜県では「円空大賞」が制定されています。この展覧会では、その第5回受賞者の優れた成果を一堂に紹介します。

円空大賞：李禹煥

円空賞：遠藤利克、浜田知明、藤森照信、横尾忠則